



### オリジナル・シューズ 6万円～

傷んでは直し、靴底が磨り減れば貼り替える。マスプロダクトとはひと味違う、手作りのよさ、優しいフィット感を末永く楽しめる。オーダーメイドは既製品と同額だが「大体1か月半くらい、大体ですよ」(福島さん)と、納期には幅がある。靴職人の頑固な仕事ぶりが伺える。



「歩きやすい靴は、甲と踵で履くようになっていく」と強調。その快適さをさらに発展させ、三代目は底に入れる芯材を足と共にしなやかに曲がる素材に変更した。



三代目店主の福島靖庸さん。とても饒舌で、靴にまつわる話となると話題に事欠かない。このヒトならまかせて大丈夫、と納得する。

## 靴を知り尽くした店主に 頼り切る快感。オーダー靴も射程距離。

いくら手作り靴のプロとはいえ、会って挨拶をした一瞬の間に足を透視したかのごとく、ジャストフィットする靴を言い当ててしまふのだから驚く。甲の高さ、足の肉付きなど、三代目店主・福島靖庸さんには、手にとるように見えてしまうようだ。靴は足に馴染まないという意味がない。福島さんの「靴屋の洞察力」こそ、我々が求めていたプロの力だと感じた。

製作は店舗とは別の工房で、お抱えの靴職人がマイ・ペースで行なっている。革は牛革のほかに、細かい皺とソフトな感触が独特の質感をもつ、カンガルーの革もある。オーダーメイドも可能で「作る手間は同じなので」と、価格は既製品と同じ(6万円)。

なるほど工程の手間こそ同じとは思うのだが、注文主の足に合わせて既製の木型にアレンジをしてゆく手間は「負けて」くれているように思う。ならばこちららも、マイ・ペースな職人仕事で納期が遅れても、大らかな気持ちで待つとしよう。1か月半ほどで、まさに足の一部となる貴重な靴が届く。

### 夜8時までの 趣味の店【大阪編】



初代が1921年からやってきたほぼ同じ製法を受け継ぐ。靴底も手間暇をかけて丹念に手縫いをする。だからこそ張り替えができる。



3坪ほどしかない売り場ながら、店主と語るにはちょうどいい距離感。膝を突き合わせて、靴の選び方をレクチャーしてもらう。

#### ●靴 コバヤシ

☎06-6311-7368

〒530-0057 大阪市北区曽根崎2-10-29

営業時間：11時～20時30分(平日)

12時～17時(日・祝日)

定休日：第3日曜

カード使用：可



行き方●梅田・大阪両駅から扇町通りを東へ200mほど。東海銀行がある新御堂筋との交差点を、渡らずに右へ。新御堂筋の測道を左に見ながら約100m。小さなショーウィンドーが目印。